

おも しんき かくじゅう じぎょう 主な新規・拡充事業

新：新規事業
拡：拡充事業
※括弧内は対前年度比較

さんぎょう しんこう 産業の振興

● 観光産業の振興

拡 大阪・関西万博推進

2億5,442万円(+2億4,133万円)

「2025年大阪・関西万博」に向けて、関西パビリオン内に設置する和歌山館(仮称)の整備及び機運醸成を図る取組等を実施します。



提供:2025年日本国際博覧会協会

拡 クルーズ客船寄港促進 3,728万円(+2,494万円)

ポストコロナや大阪・関西万博を見据え、インバウンド需要の取り込みをめざし、県内3港(和歌山下津港、日高港、新宮港)へのクルーズ客船寄港誘致活動を推進します。



大型クルーズ客船の寄港

● 最先端産業の振興と企業の成長支援・誘致推進

新 サービス産業誘致促進 3,413万円

県外及び海外の企業等に対するプロモーション活動の強化等により、本県サービス産業への投資を促進します。



たよう じんざい せつち 多様な人材によるプラットフォーム設置

新 和歌山未来創造プラットフォーム(仮称) 638万円

県内外で活躍している幅広い分野の有識者等から、本県の活性化につながる助言や提案等をいただき、県行政に活用します。

● 農林水産業の振興

新 紀州材生産力高度化支援 2億円

エネルギー価格高騰対策や原木等の消費量拡大のため、エネルギー効率や生産効率等に優れた加工機械等への転換及び導入を支援します。



高性能製材機

新 沿岸漁業の再生をめざした漁場整備 1,694万円

地域ごとに藻場や水産資源の減少要因を分析し、環境や生態に応じた漁場整備を行うことで、沿岸漁場の生産力向上と水産資源回復を図ります。



藻場の再生

新 タチウオの資源回復 500万円

漁獲量が激減しているタチウオの資源回復を図るために、資源調査・評価を行うとともに、禁漁期・禁漁区の設定等による資源管理を推進します。



水揚げされたタチウオ

拡 農業の担い手育成総合対策 4,764万円(+2,297万円)

就農相談会等による就農希望者の呼び込み強化や農業に参入しやすい仕組みを産地に構築することで新規就農者を確保します。



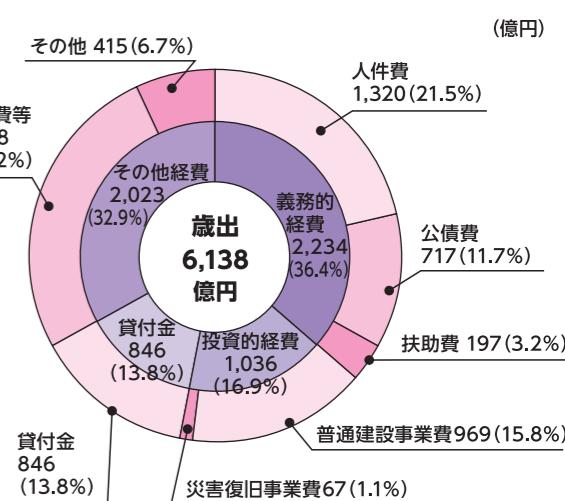
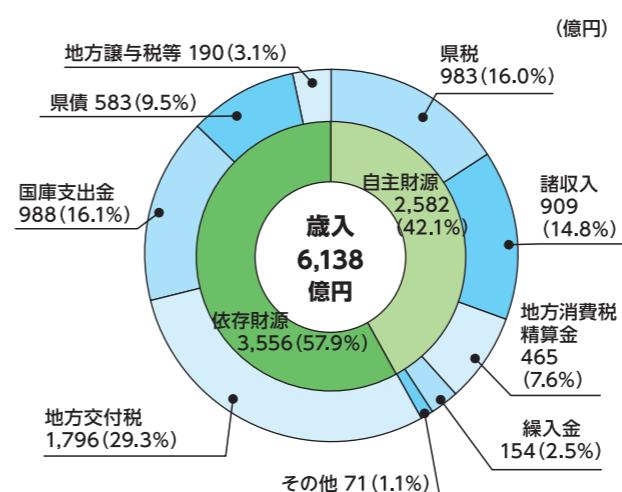
れいわ ねんど とうしょ よさん ざいせい みなぶ がいよう 令和5年度当初予算(財政見直し)の概要

予算規模 島入・歳出 6,138億円(対前年度+1.6%)

※当初予算としては過去最大規模

収支状況 前年度に引き続き島入・歳出は均衡

※2年連続で財政調整基金・県債管理基金の取崩しを行わない。



重点施策

■ 農林水産業や観光など産業の振興、子供を育む環境づくり等を柱として、和歌山県の未来に繋がる施策を推進します。

■ 多様な人材が参加するプラットフォームを設置し、知恵と力を合わせて和歌山県の活性化に取り組みます。

1. 産業の振興	農林水産業の振興	● 農業の経営発展・生産力強化 ● 水産資源の回復 ● 林業・木材産業の生産基盤強化 ● 販路開拓、スマート化、担い手確保
	観光産業の振興	● 大阪・関西万博、世界遺産を生かした観光誘客 ● ワーケーション推進 ● クルーズ客船誘致
	最先端産業の振興と企業の成長支援・誘致推進	● 宇宙関連産業・蓄電池関連産業の集積 ● 産業DX推進 ● ロケット発射場周辺地域活性化 ● 企業誘致
2. 子供を育む環境づくり	子育て支援	● 妊娠・子育て等の相談及び経済的支援、保育料の無償化、待機児童解消対策 ● 地域で育む環境づくり
	教育の充実	● 専門性を伸ばす教育の充実 ● いじめ、不登校対策 ● きのくに学力向上総合戦略
3. 脱炭素社会の実現	カーボンニュートラルの推進	● 企業の脱炭素化支援 ● 適切な森林整備の推進 ● 県有施設等の脱炭素化 ● 林業・木材産業の生産基盤強化(再掲)
	インフラの整備と活用	● 道路ネットワーク、港湾、空港の整備 ● 南紀白浜空港活性化、クルーズ客船誘致(再掲) ● 企業用地開発 ● 地域生活交通の維持・確保
4. 活力あふれる地域づくり	賑わいのある地域づくり	● わかやま移住定住総合戦略 ● 紀伊風土記の丘再編整備 ● まちの賑わい空間創出
	防災・減災対策の推進	● 『災害による犠牲者ゼロ』の実現 ● 防災DX推進 ● 大規模災害における災害対処能力の強化
5. 安全・安心に暮らせる社会づくり	医療・福祉の充実	● 新型コロナウイルス感染症対策 ● 児童虐待やヤングケアラーへの対応 ● 介護・障害福祉サービス施設整備 ● 地域医療を支える医師確保 ● 健康づくり推進 ● 介護人材確保